

道 東 自 動 車 道  
狩 勝 第 二 ト ン ネ ル 東 工 事

割 掛 対 象 表 参 考 内 訳 書

割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、工事の実施にあたっては、この主旨を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段において、受注者の責任において定め、施工するものである。

なお、割掛対象表参考内訳書の内容について質問することはできない。

令和6年7月

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
帯広工事事務所

## 割掛対象表参考内訳書 1 / 5

### 【 共 通 仮 設 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 190km（片道）】 ホイールローダ（トラクションベル）サイトダンプ 3.0 m <sup>3</sup> 級：24t－1 台－1 往復 ダンプトラック 25t 積み：20t－5 台－1 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 土 工 ）	土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 190km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：1 台－3 往復 ○基地からの運搬【運搬距離：約 190km（片道）】 ブルドーザ 21t：1 台－1 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 構 造 物 掘 削 ）	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 190km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：1 台－1 往復	—
工事用機械分解組立費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 190km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 170kg 級：1 台－1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150kg 級：1 台－2 往復 コンクリート吹付機エレクトラ型 6～22 m <sup>3</sup> /h 級：1 台－1 往復 コンクリート吹付機 20 m <sup>3</sup> /h 級：1 台－2 往復	—
工事用機械分解組立費 （ 地 盤 改 良 ）	中層混合処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 190km（片道）】 バックホウ山積 1.4 m <sup>3</sup> 以上（ベースマシン）：1 台－1 往復	—
仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 190km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・ H150×H150 1.8t（0.9t/箇所×2 箇所） ・ 副資材 8.4t（4.2t/箇所×2 箇所）	—
電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	高圧電力 A 総電力使用量：1,173,231kWh 北海道電力株式会社	—
土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：1 回	—

## 割掛対象表参考内訳書 2 / 5

地 質 調 査 等 費	平板載荷試験に要する費用をいう。	坑門工：1箇所	—
ロックボルト長さ 検 査 費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数：20.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—
監 督 員 詰 所 費	監督員詰所の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用をいう。	建物面積：9.9 m <sup>2</sup> 程度 工事期間：46ヶ月（1,380日）	—
火 薬 庫 費	火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所：20.8ヶ月 （掘削開始～掘削完了）	—
ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長：1,324.0m	—
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	坑門工 上向：2箇所、側面：4箇所	—
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。	コンクリートT1－4：1回 コンクリートT3－4：1回	—
配 合 試 験 費	地盤改良を行うにあたり、固化材の添加量を決定するための室内配合試験に要する費用をいう。	擁壁工：1回	—

### 【 準 備 工 事 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用道路維持補修費	工事用道路に使用する林道の工事着手時の補修及び工事用道路の維持補修（散水）に要する費用をいう。	工事用道路補修 普通作業員 1人・日 タンパ運転 1台・日 （切込砕石敷均し 5.0 m <sup>3</sup> ・締固め 320 m <sup>2</sup> ） 散水車 5,500 L 期間：19.9ヶ月	—
工事車両泥落とし装置費	泥落とし装置に要する費用をいう。	【鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型）】 工事用進入路付近：1箇所 設置・撤去1回、設置期間：9.3ヶ月	—
坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交替（8h2方） 保守期間：20.8ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—

## 割掛対象表参考内訳書 3 / 5

坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘側溝：L＝1,324.0m 設置期間：22.8ヶ月（掘削開始～覆工完了） 排水設備：サンドポンプ（覆工用）φ50×2.6kw×2台 設置期間：22.8ヶ月（掘削開始～覆工完了）	—
----------	--	---	---

### 【仮設備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費 （擁壁工）	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	<b>【くさび緊結式手すり先行専用足場】</b> ・擁壁工：894.1 空m <sup>3</sup>	—
足場工費 （非常駐車帯妻部）	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	<b>【くさび緊結式手すり先行専用足場】</b> ・104.5 空m <sup>3</sup> （52.272 空m <sup>3</sup> ／箇所×2 箇所）	—
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	25t ダンプ延運転月数：80.1 ヶ月 運転労務（補助）延運転月数：25.8 ヶ月	—
吹付設備費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立解体1式—設備期間：20.8 ヶ月 （基礎コンクリートの処分費を含む）	—
積卸し設備費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の積卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費をいう。	トンネル掘削の施工期間：20.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了） 覆工作業単独の施工期間：2.0 ヶ月	—
換気設備費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 2,000 m <sup>3</sup> ／min（110kw×2） 設置・撤去 18.9 ヶ月 電気式集じん機 2,400 m <sup>3</sup> ／min（64kw） 設置・撤去 11.5 ヶ月	—
給水設備費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：1,324m、坑外配管延長 78m 設備期間：22.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了まで） 取水設備：水中ポンプφ50mm、送水管延長 18m 取水設備期間：22.8 ヶ月（掘削開始～覆工完了まで）	—
工事用電力設備費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：1,324m 責任分界点から坑口までの距離：約 1,100m	—

## 割掛対象表参考内訳書 4 / 5

工 事 用 電 力 費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電気料をいう。	総設備負荷合計容量：1.4 万 kw 電力使用期間：22.8 ヶ月	—
足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：1,324m	—
吹 付 プ ラ ン ト 冬 期 養 生 費	トンネルの吹付プラント設備の冬期養生及び練り混ぜ水用のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 1,080 m <sup>3</sup> 養生期間：11.0 ヶ月	—
汚 濁 水 処 理 設 備 冬 期 養 生 費	トンネルの汚濁水処理設備の冬期養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 540 m <sup>3</sup> 養生期間：11.0 ヶ月	—

### 【 雑 工 事 費 】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
の り 面 仕 上 げ 費	共通仕様書 2-6-5（8）及び 2-7-5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	盛土のり面仕上げ：22,924 m <sup>2</sup> 切土のり面仕上げ：2,012 m <sup>2</sup>	—
火 薬 取 扱 い 費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間：20.8 ヶ月（掘削開始～掘削完了）	—
構 造 物 水 抜 孔 費	コンクリート構造物に設置する水抜孔に要する費用をいう。	擁壁工：VP（φ50）：L=16.0m VP（φ150）：L=1.6m	—
目 地 材 費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	擁壁工：目地板（t=2cm）20.7 m <sup>2</sup>	—
箱 抜 工 費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜に要する費用をいう。	箱抜き型枠：281.3 m <sup>2</sup> 箱抜き補強材の設置：3.8t 既設支保工撤去：4.2t	—
インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	インバート妻型わく：1,310.9 m <sup>2</sup>	—
非常駐車帯妻型わく費	非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	非常駐車帯妻型わく：36.9 m <sup>2</sup>	—

## 割掛対象表参考内訳書 5 / 5

坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土のう (62cm×48cm) : 2,446 袋</li> <li>・外型枠 (キャストプレート (黒皮品) 650×25×1.2) : 52.4 m<sup>2</sup></li> <li>・コンクリート吹付け (t=10cm) : 218.6 m<sup>2</sup></li> <li>・吹付けコンクリート (t=20cm) : 49.8 m<sup>2</sup></li> <li>・継ぎ材 (等辺山形鋼 (50×50×6)) : 538.7kg</li> <li>・やらず (φ180(松丸太) L=7.0m) : 2 本</li> <li>・水抜きボーリング (φ66 mm、L=50.0m) : 2 本</li> </ul>	○
防音扉費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する扉に要する費用をいう。	防音扉設置撤去 : 1 基 (76.3 m <sup>2</sup> ) (基礎コンクリートの処分費を含む)	○
仮囲い費	工事箇所と高速道路本線との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。	高さ : H=3.0m 設置延長 : B 1 タイプー L=60.0+41.0+63.0=164.0m	○
避難連絡坑補強費	避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑の鋼アーチ支保工、底版プレート及びロックボルトの撤去並びに補強プレート、補強ロックボルト及び補強アンカー等の設置に要する費用をいう。	鋼アーチ支保工撤去 : 0.4t (0.4t×1 箇所) ロックボルト撤去 : 16 本 (8 本×2 箇所) 補強材設置 : 0.4t 補強ロックボルト (L=4.0m) 打設 : 5 本 (5 本×1 箇所) 補強ロックボルト (L=2.0m) 打設 : 8 本 (4 本×2 箇所) 既設覆工の撤去費 <b>【移動足場】</b> (自走式リフトホイールブーム型足場 : 8 日/箇所、揚程 8m~9m 未満) 接続アンカー設置 : 74 本 (37 本×2 箇所)	○
有料道路料金費	材料、機械、設備等の搬出に必要な高速道路通行料金の費用をいう (消費税相当額を除く)。	トマム IC~十勝清水 IC 間 ・大型車台数 3,696 台 ・中型車台数 18 台	—